

第2部 活動報告

1. 活動記録

2015年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。センター共催という形で協力頂いた各研究プロジェクトの責任者、関係者の方々、また、遠路はるばる来札され、高度な研究報告、講演をしてくださったすべての方に、厚く御礼申し上げたい。

今年度は特にセンターとして主たるテーマを掲げることはしていない。しかし、世界の複雑化と流動化の進展を背景とした多様な実践的課題を意識した企画が続いていることは偶然ではない。世界の変化に応答する法学・政治学の実相が本記録には現れていると言ってよいであろう。

2015年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ一覧

2015年 04月18 日(土)	法理論研究会定例研究会「戦時期における日本法哲学思想の一つの謎 — 回想の尾高朝雄・常盤敏太・E.Wolf あるいは不寛容への挑戦—」 報告Ⅰ:「戦時期における日本法哲学思想の一つの謎— 回想の尾高朝雄・常盤敏太・E.Wolf あるいは不寛容への挑戦—」鈴木敬夫(札幌学院大学・名誉教授) 報告Ⅱ:「中国の制裁システムにおける治安管理処罰制度の位相 — 刑事制度との関係・比較から—」坂口一成(大阪大学・准教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 共催:「体制転換と法」研究会
2015年 05月16 日(土)	法理論研究会定例研究会「Interactive Reason in Law」 報告:長谷川晃氏(北海道大学法学研究科) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 06月29 日(月)	法理論研究会特別例会「補償問題の類型学」“Righting Past Wrongs: Modes of Reparation” 報告:John Torpey 教授(CUNY)(ニューヨーク市立大学社会学部大学院) 共催:北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター *北大トップコラボ事業の一環として開催
2015年 07月03 日(金)	高等研センター、附属図書館共同ワークショップ「世界のルールの作り方・使い方」第1回食の安全と国際経済—成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防 第一部 講演 1)[基礎編]「世界のルールの作り方・使い方—国際法ガバナンスの基礎」(法学研究科 教授 児矢野マリ氏) 2)[応用編]「食の安全と国際経済—成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」(公共政策学連携研究部 准教授 伊藤一頼氏) 第二部 資料・情報の検索セミナー(附属図書館調査支援担当) 主催:北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学附属図書館

2015年 07月04 日(土)	法理論研究会定例研究会「リスク・緊急事態・悪法論」 報告:中山竜一氏(大阪大学) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 07月17 日(金)	公法研・国際法研・高等研センター共催企画「国際人権法と国内法—国際法学と憲法学・行政法学との対話」 研究報告:「国際人権基準調和的な人権保障のあり方 —差別禁止法と国内人権機関を題材に」申 惠 丰教授(青山学院大) 憲法学からのコメント:齊藤正彰教授(北星学園大) 国際法学からのコメント:斎藤民徒教授(金城学院大) 主催:北海道大学公法研究会、北海道大学国際法研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 07月24 日(金)	法理論研究会特別例会「『北朝鮮帰国事業』と訪朝記: パレーシア〈命を危険に曝してでも真理を語る勇気〉をめぐって」 報告:アドリアン・カルボネ氏(ルーヴアン大学人文学部 准教授) 共催:北海道大学政治研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 07月25 日(土)	講演会「〈開かれた社会〉の規範論」 講師:小坂井敏晶氏(パリ第8大学) 主催:明治大学 法と言語科学研究所、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 07月25 日(土)	ワークショップ「体制転換と法」研究会 報告Ⅰ:中国における人民参審員制度改革 —その挑戦と展望」徐昕(北京理工大学法学院・教授) 報告Ⅱ:戸主制をめぐる韓国の家族法」岡 克彦(福岡女子大学・教授) 共催:「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 09月28 日(月)	法理論研究会特別例会「私たちのものが欲しい(We Want What's Ours)」「補償と修復的正義(Reparations and Restorative Justice:Repairing the Broken Pieces)」 報告Ⅰ:「私たちのものが欲しい(We Want What's Ours): 尊厳収用とその回復(Dignity Taking and Dignity Restoration) —南アフリカの土地回復請求の事例から」B・アツアヘネ教授(シカゴ・セント・ローズスクール) 報告Ⅱ:「補償と修復的正義(Reparations and Restorative Justice:Repairing the Broken Pieces)」C・ウォーターハウス教授(インディアナ大学ロースクール) 共催:北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター * 北大トップコラボ事業の一環として開催
2015年 10月03 日(土)	ワークショップ「体制転換と法」研究会 報告Ⅰ:「クロアチアとその周辺および韓国における法文化雑感」伊藤知義(中央大学・教授) 報告Ⅱ:中国における弁護士業務証書の年度更新制度」蘇 航(北大大学院・博士後期課程) 共催:「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 10月16 日(金)	法理論研究会特別例会「正義を通じての社会的癒し:歴史的不正義の傷の癒しについての米国の協働的責任」 報告:E・ヤマモト教授(ハワイ大学ロースクール、フレッド・コレマツ「法と社会正義」特別教授)

	共催:北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター *北大トップコラボ事業の一環として開催
2015年 10月31 日(土)	JILA 高等研センター セミナー「企業内弁護士と振り返る『最近の企業法務トピックス』」 講演:平泉真理氏(弁護士・ペーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社 法務部長)、上田大輔氏(弁護士・関西テレビ放送株式会社編成局知財推進部主任) 主催:北海道大学法科大学院、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 共催:北海学園大学法務研究科、北海道大学経済法研究会、北海道大学刑法研究会
2015年 11月02 日(月)	法理論研究会特別例会「日本の非営利部門の強化を志向する日米比較—家族問題に焦点をおいて」 報告:ムツサミ・クマラン(Muthusami Kumaran)氏(フロリダ大学・家族・若者・コミュニティ学部教授) 共催:北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 11月22 日(日)	「一般公開フォーラム:同性パートナーシップ制度導入を考える」 開会式辞:新田孝彦(本学理事) 閉会式辞:白木沢旭児(文学研究科長) パネリスト:須田布美子(札幌弁護士会所属弁護士)、鈴木 賢(明治大学教授・北海道大学名誉教授)、田中かず子(国際基督教大学名誉教授・同ジェンダー研究センター初代センター長) コメンテータ:石井吉春(北海道大学公共政策大学院教授・同院長) 司会・進行役:瀬名波栄潤(北海道大学大学院文学研究科教授・同応用倫理研究教育センター員) 主催:文学研究科応用倫理研究教育センター 共催:法学研究科附属高等法政教育研究センター、公共政策大学院 後援:国際本部サステナビリティ・ウィーク 2015
2015年 11月24 日(火)	法理論研究会特別例会「ヨーロッパ及びアメリカ合衆国の難民・庇護の法政策の近時の展開——補償、市民権(公民権)及び正義の領域との関係で」 報告:D・エイブラハム教授(マイアミ大学ロースクール(現在ベルリン・社会科学研究所センター)) 共催:北海道大学法学会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター *北大トップコラボ事業の一環として開催
2015年 12月05 日(土)	シンポジウム「司法の市民参加と多文化主義:ベルギーの経験から」 講演Ⅰ:「ベルギーとフランスにおける司法の市民参加と多文化主義の近代的起源:日本では受け止められたか」Dimitri Vanoverbeke 氏(ルーヴアン カトリック大学・教授) 講演Ⅱ:「衝突と和解のはざままで——近年のベルギー政治をいかに読むか」松尾秀哉氏(北海学園大学・教授) 主催:日本学術振興会科学研究費基盤(B)「法廷における異文化衝突の言語分析—法文化の変容と法批判をめぐって—」(代表者:尾崎一郎)、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
2015年 12月17 日(木)	公開講演会「法学教育とジェンダー」 講演:角田由紀子氏(弁護士・第二東京弁護士会) コメント:秀嶋ゆかり(弁護士・札幌弁護士会) 主催:北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

2015年 12月19日 (土)	法理論研究会定例研究会「最高人民法院の現状と課題」 報告Ⅰ:「地方政府と裁判所の関係について:人事と財政予算のコントロールを中心に」左衛民氏(四川大学・教授) 報告Ⅱ:「中国における裁判官定員制の改革」李学堯氏(上海財経大学・教授) 報告Ⅲ:「公正な裁判における意見(opinion)の位置づけ」陸而啓氏(厦門大学法学院・准教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 共催:「体制転換と法」研究会、日本学術振興会科学研究費基盤(B)「法廷における異文化衝突の言語分析—法文化の変容と法批判をめぐる—」(代表者:尾崎一郎)
2015年 12月24日 (木)	特別講演会「家庭裁判所調査官の仕事について」 講演:葛西由布子氏(札幌家庭裁判所調査官) 主催:北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 01月28日 (木)	FD サロン「大学対抗交渉コンペティションへの北海道大学の参加の取り組みについて」 報告:會澤恒(北海道大学法学研究科教授)、堀内詩織(北海道大学法学部4年) 主催:北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年01 月30日 (土)	法理論研究会定例研究会「公私二元論からみたドイツジェンダー法政策」 報告:若林翼氏(ブレーメン大学研究員) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 02月01日 (月)	リタ・ハーヴァーカンブ教授講演会日独共同セミナー「ドイツ連邦共和国における女子処遇と母子施設」 講演:リタ・ハーヴァーカンブ(ドイツ・テュービンゲン大学教授) 通訳:小名木明宏 主催:科研費A「犯罪者を親にもつ子どもへの支援に関する総合的研究」(代表者:矢野恵美) 共催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 02月04日 (木)	リタ・ハーヴァーカンブ教授講演会刑事法研究会特別例会「ドイツ連邦共和国における保安処分の現状」 講演:リタ・ハーヴァーカンブ(ドイツ・テュービンゲン大学教授) 通訳:小名木明宏 主催:北海道大学刑事法研究会 共催:科研費C「複合的視点からの保安処分制度の再構築についての研究」(代表者:小名木明宏)、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 02月06日 (土)	法理論研究会定例研究会「21世紀の社会国家」(Thomas Piketty)とJohn Rawlsの「正義」論——「Max Weberのリベラリズムの現代的意義」研究の観点から—— 報告:今井弘道氏(浙江大学光華法学院特聘教授、北海道大学名誉教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 02月20日 (土)	法理論研究会定例研究会「法道具主義再考」 報告:椎名智彦氏(青森中央学院大学) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 03月09日 (水)	法理論研究会定例研究会「意味の所有権—法的推論と〈法と文学〉」 報告:林田清明氏(北海道大学法学研究科) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター
2016年 03月23日 (水)	法理論研究会定例研究会「社会的世界はいかに把握されるか?—エスノメソドロジーの失われた原問題をめぐって」 報告:櫻村志郎氏(神戸大学) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター